



国際ロータリー第2530地区 2014-15年度

福島ロータリークラブ會報

第20号

例会日／2014年12月4日(木)

開会点鐘／12:30

会場／ホテル「辰巳屋」8F

和の心で
日々燭を掲げよう

Rotary



本日の
プログラム

・年次総会

次年度役員・理事の選挙

・次年度会長挨拶

幡 研一 会長エレクト

・「家族月間にちなんで」

親睦R家族小委員会

菅野 晴隆 委員長

<http://www.f-rotary.com/>

【事務所】福島市栄町5-1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日12:30

【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011

【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com

例会次第

開会点鐘 丹治正博 会長
ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー 菅野裕一 会員
「四つのテスト」唱和 金子與志人 会員
12月誕生祝い
会長挨拶 丹治正博 会長
食事 丹治正博 会長
幹事報告 坪井大雄 幹事
各委員会報告
●プログラム・ニコニコBOX小委員会
ニコニコBOX担当 緒方啓道 委員
◎本日のプログラム
閉会点鐘 丹治正博 会長



忌と喪中

さて、師走の声を聞きますと神社にはさまざまな問合せが寄せられます。その中でも多いものが、「今年、身内に不幸があったのですが、お正月を迎えられますか?」「喪中とお正月迎える是非についての問合せが一番多く寄せられます。そこで今日は「喪中の心得」についてお話を申し上げます。

喪中の心得

二〇一四―一五年度会長 丹治正博

ごあいさつ

じてから直ぐを「忌(いみ)」がかかる、といい、神社参拝や結婚式への出席を遠慮する期間で、自分からみての関係により期間の定めがあり、一番長くて五十日です。この「忌」の期間が明けてから後を(精神的な)喪に服する期間といい、「忌」が期間があるのに対して、個人の心情に任され、期間の定めはありません。

「忌」の期間

「忌」の期間は、地方の風習により様々ですが、全国的な目安をお示ししますと、
ア、父母・夫・妻・子……………五十日
イ、祖父母・孫・兄弟姉妹……………三十日
ウ、曾祖父母・曾孫・甥・姪・伯叔父母……………十日
エ、その他の親族……………三日
オ、配偶者の親族については、前項を一項ずつ繰り下げた日数による。

忌の期間が明けてからも、悲しみを乗り越えて平常な生活に戻るための「心のけじめ」をつける期間という意味で喪に服しますが、期間はそのそれぞれの心情に委ねられます。長くても半年位を目安にするとういでしょう。

忌引き(きびき)＝「忌」の期間ではない

勤務先や学校等を休む時の「忌引き」を「忌」の期間と誤解している人もありますが、忌引きは勤務や授業に大きな支障が出ない範囲内で定められた、休むことのできる日数のことであり、「忌」の期間そのものではなく、一部に過ぎません。

「忌」の期間中の心得

- ◆ 祭礼・行事への参加、神社への参拝や境内に入ることなどを遠慮します。
- ◆ 結婚式・祝賀会・式典などへの出席、行楽の旅行などは控えます。
- ◆ 祝い事を行うことを予定していた場合には、忌明け(いみあけ)以降に延期します。

◆ 家の新築、増・改築や、大きな買い物等を控えます。

現代は、いろいろな多忙で、対人関係も複雑です。こうした生活の中で、忌明けまでの間、自宅に籠りきった忌みの生活を行う事は不可能です。したがって、以上に示したようなことを基本的な心構えとして、故人の冥福を祈る気持ちで、日々の生活のなかに自然に表れるように「忌」の期間を過ごすことを心掛けたいと思います。

多い質問

★ 家族が亡くなった時、神棚はどうすればいいのでしょうか?

：神棚に家族が亡くなったことを奉告し、扉を閉め、正面に白い紙を貼って覆い、忌明けまで、お供えやお参りを遠慮します。なお白い紙は「忌明け」の時にはがし、神祭りも日常に戻します。

★ 不幸のあった年は、正月の祝い事はできないのですか? お伊勢さまや氏神さまのお神札(おふだ)も受けられないのですか?

：その家の主人、または喪家が「忌明け」をしている場合には、お正月を迎えることも、お神札をお取り替えすることも支障はありません。年賀状を遠慮する場合でも、お神札のお取り替えは必ず行なって下さい。しかし、「忌明け」していない場合には、小正月または旧正月にします。その際、年賀状のかわりに、近況報告をかねて、「寒中見舞い」を出すことも一つの方法です。

本日のプログラムですが、本例会は、次年度の役員理事を選出致します年次総会を兼ねております。次年度役員・理事候補者をご提案申し上げた後、ご承認を頂くことになっておりますので宜しくお願い申し上げます。また、十二月はロータリー家族月間です。菅野晴隆親睦ロータリー家族委員会委員長よりスピーチがございます。

「家族月間にちなんで」

親睦ロータリー家族小委員会 菅野 晴隆 委員長



今月12月は、家族月間ということで、親睦ロータリー家族小委員会の菅野より、お話をさせていただきます。

当クラブの諸先輩方から教えていただいた内容や、公開されているロータリーの情報によれば、1995-96年度のハーバード・ブラウンRI会長が、世界平和は、地域、家族から始まる

という考えを表明されたことにより、1995年11月のRI理事会において、2月の第2週が「家族週間」と指定されたのが家族月間のそもそもの始まりであるということです。その後、2003-04年度のジョナサン・マジアベ会長が家族の重要性をより強調されたことを称え、2007年7月のRI理事会において、12月を「家族月間」と指定して、「家族週間」を廃止したということです。

ジョナサン・マジアベ元RI会長は、「家族月間」が定められたことについてのコメントとして、「この特別な12月に、家族月間がロータリーカレンダーに初めて記されたことを、私は格別に誇りに思っています。家族月間の制定は、各ロータリークラブに、地域の 家族、特別に援助を必要とする人々に『手を貸す』ことを奨励するためのものです。」と述べられています。

家族月間は、ロータリアンが、その活動や行事を通じて家族と地域社会への献身を示すとともに、クラブや地区は、ロータリー家族委員会を設置し、会員とその配偶者や子ども、親戚、元ロータリアン、亡くなったロータリアンの配偶者などに対する心配りや、善意の行動をすることによって、様々な考えを協力的に分ち合い、会員を増強し、退会を防止し、組織を強化し、さらには人道的奉仕活動を発展させることによって、社会の信頼を得、活力ある豊かなロータリーの発展に繋がるとされています。

さらに、現在では、インターアクト、ローターアクト、ロータリー財団学友、ロータリー地域社会共同隊など、ロータリーに関するすべての方々の組織を含めて「ロータリー家族」と呼ぶとされています。

以上、家族月間の成り立ち等に関するお話をさせていただきましたが、この話しはこの程度でお許しいただき、残りの時間は、この月間を迎えて、私が家族について今感じていることを少しお話しさせていただきます。

私は、地元、福島生まれの福島育ちであり、一人っ子であったため、両親と私の3人家族の家庭で育ちました。父と母は、それぞれ別の仕事をしていたため、私は、学校から家に帰っても両親が家にいないという、いわゆる鍵っ子でしたが、普段は別々に活動していても、互いをかけがえのない伴侶として深い信頼で結ばれていた両親を私なりに尊敬しておりましたし、私自身も、いつも私にかけてくれる言葉や、私の意見や希望に真摯に耳を傾けてくれたり、悩みの解決に向けて一緒に考えてくれたりする態度などから、一緒に過ごす時間は多くはなかったものの、両親の愛情を十分に感じ取ることができていたと思います。

大学へと進み、法曹を志して司法試験を受験していた間も、

両親には物心両面で全面的に世話になりました。そのおかげもあって、幸運にも試験に合格することができ、地元福島で渡辺健寿先生の事務所に入れていただき、弁護士としての第一歩を踏み出すことができました。その後、何とか生活も安定してきたため、そろそろ両親に恩返しをしなければならないと思っていたのですが、残念ながら、東日本大震災を挟んだ前後1年3か月の間に、両親が相次いで亡くなってしまいました。

私の家族に訪れたような出来事は、大なり小なり、どの家庭にもあることであり、私などよりもっともっと大変な思いをされた方もいらっしゃると思いますが、私自身も、東日本大震災により「絆」というものの重要性が再認識される中、両親を亡くしたことで、親という存在、家族という存在が、どれ程かけがえのないものなのか、家族の愛情というものが、どれ程深いものなのか、改めて実感することとなりました。

人は、どんなに辛い、悲しい出来事があっても、これを超えて生きていかなければなりません。これは簡単なことではないと思いますが、実際には、時の経過とともに人の記憶も徐々に薄れ、日々の仕事や雑事に追われる中で、少しずつ元の状態に戻っていくというのが一般的であるように思います。

私自身も、母の死から4年余り、父の死からも3年近く経過した今日に至るまでの間に、ロータリークラブの皆様をはじめ多くの方々にお世話になり、現在は、何とか前向きに生きていける状態になっております。

現在、私には、妻と二人の小学生の男の子がいます。普段は、それぞれ仕事、学校、習い事等で慌ただしくしており、お互い顔は合わせても、十分な意思疎通や交流を図ることができないまま時間が流れている感じがいたします。

核家族化が進み、共働き世帯が増えているため、家族が十分な交流を図りにくいという家庭は珍しくありませんが、ロータリーでは、せっかく家族月間というものが定められていますので、私としては、自分の両親に対して十分にできなかった恩返しの代わりになるかどうかはわかりませんが、両親がいつもどのような気持ちで自分に接してくれていたかということに思いをいたし、現在一緒に過ごす家族や職場の仲間、あるいは友人や社会でお世話になっている方々に対して、感謝や思いやりの気持ちを忘れずに接するよう心がけながら、更に親交を深めていきたいと考えており、特にこの家族月間中は、いつも当たり前のように顔を合わせる家族との時間が永遠に続くものではないということ、自分の横で笑ったり文句を言ったりしている家族と過ごす何気ないひとときが実はかけがえのない幸せな時間であるということを、もう少し意識しつつ、家族と過ごす時間を大事にしたいと思っております。

当クラブの会員の皆様におかれましても、家族月間の今月は、普段一緒に過ごされているご家族に、いつもより少しだけ意識して労いの言葉をおかけになってみてはいかがでしょうか。また、奥様やご主人、お子様はもとより、お孫さんとの交流の機会なども設けられ、ご家族の皆様とのかけがえのないひとときを和気あいあいと過ごされてみてはいかがでしょうか。

結びになりますが、今月の18日には、私ども親睦ロータリー家族小委員会が年忘れ家族夜間例会を担当させていただきます。皆様には是非とも多くのご家族をお誘いいただき、家族月間にふさわしい楽しい会となるようご協力いただきたくお願い申し上げます。私の話しを終えたいと思います。感傷的で私的な事柄が入りすぎた、とりとめのない話をご清聴いただき、誠にありがとうございました。

ロータリー財団への寄付

奉仕活動と資金調達は車の両輪

人類は1つ。世界中の貧困や飢餓が減少し、社会が向上し、世界が平和にならない限り、私たちの真の平和は有り得ません。ロータリー財団が地域社会や国際社会への奉仕をさらに強化増大していくためには、奉仕活動の充実と資金面の援助が大変重要になります。ロータリー財団は非営利財団で、ロータリアンをはじめ、より良い世界を築こうというビジョンを共有する財団支援者の方々からの自発的な寄付のみにより支えられています。

『毎年あなたも100ドルを』…Every Rotarian, Every Year (EREY)…という合言葉の下、年次基金への寄付は、7大陸にある160以上の国や地域で行われている財団プログラムの主要な資金源となっています。アフリカの農村に井戸を掘ることから、ラテンアメリカの子供たちに読み書きを教えることまで、世界中のロータリアンは、自らの時間と専門知識を捧げて懸命にボランティア活動にあたっています。年次基金への寄付はすべて、質の高いロータリアンのプロジェクトの支援に有効に活用されています。寄付は大きく分けて次の3種類です。

1. 年次基金寄付 (税制上の優遇措置を受けられます)

年次基金は、財団プログラムを存続させるための寄付の基盤であり、この寄付は使い道を指定することなくロータリー財団に寄付するもので、3年後に全額使われます。年次基金は、50%が国際財団活動資金(WF)として財団の管理の下に、あと50%が地区財団活動資金(DDF)として、地区の裁量の下に使用されていきます。

2. 恒久基金寄付 (税制上の優遇措置を受けられます)

最低限度のプログラム活動を継続し、将来の新プログラムまたはプログラムの拡張を容易にするために、寄付金は使用せず基金として積み立てておくものです。収益のみが3年後に使用されます。

3. 使途指定寄付

あらかじめ使い道を決めて金額を問わず、財団プログラムを指定して寄付するものです。ポリオプラス、グローバル補助金などがその代表的例です。

寄付と認証 (Contribution and Recognition)

財団の使命とプログラムへの寄付に対しては、寄付者に分かりやすい形で、その寄付に感謝します。それが認証です。寄付者とすぐ分かるように着用できるピンなどを寄付者に贈ります。寄付額は年々累計を算出します。

1. 「財団の友」会員 (Rotary Foundation Sustaining Member)
…「財団の友」会員は、年次基金へ毎年100ドル以上寄付する人のことです。
2. ポール・ハリス・フェロー (PHF Paul Harris Fellow)
…ロータリー財団の年次基金、ポリオプラス基金、WF、財団補助金の提唱者側負担分として1,000ドル以上寄付した人。対象は個人だけです。
3. マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (Multiple Paul Harris Fellow) …1,000ドル以上寄付した人は、その後1,000ドル寄付することにマルチプル・ポール・ハリス・フェローになります。
4. ベネファクター (Benefactor) …恒久基金に1,000ドル以上寄付した人。
5. メジャードナー…累積寄付の合計が10,000ドルに達した人。一などがあります。(文責/丹治正博)

クラブ例会の意義とメイクアップ

1. 例会出席の大切さ ～ロータリーの例会は人生の道場～

ロータリーでは毎週1回決まった曜日と時刻に例会を開きますが、例会の所要時間は日本では概ね1時間です。ロータリーではこの例会への出席を最も重要視し、その規則も非常に厳格です。①ホームクラブに半期30%以上出席 ②メイクアップを含めて半期50%以上出席 ③連続4回欠席してはならない、といった出席規定があります。この規定は次のように読み替えると良いでしょう。①ホームクラブに毎週必ず出席する ②どうしてもホームクラブに出席できないときは、必ずメイクアップをすることです。この規定は、会員身分を保証するための最低条件に過ぎず、ロータリー運動が望む会員像は、毎例会、欠かさずホームクラブに出席するロータリアンの姿だからです。

例会の目的は、職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の持続性を学び、友情を深め、自己改善を図ることにあり、その結果として奉仕の心が育まれてくるのです。自己改善は終生続けられなければなりませんから、ロータリアンには定年はないし、ロータリー運動には終結もありません。これが例会出席がロータリーライフの前提となる所以なのです。米山梅吉は「ロータリーの例会は人生の道場」と語っています。お互いが切磋琢磨して自己研鑽に励む貴重な修練の場でなければなりませんから、例会運営に当る者は、事業に従事すべき貴重な時間を割いて例会に参加する会員に、それに値するメリットを与える義務があります。限られた時間の中で、如何に有益な情報を効果的に提供するかを真剣に考えて、実行しなければなりません。会長の時間、議事、各種の報告、卓話、そのひとつひとつがロータリー運動の質を高め、参加者の心に深い感銘を与える内容であってこそ、初めて例会出席の意義が満たされるのです。

2. メイクアップ (Make-Up)

ロータリアンには例会に出席する義務があります。ホームクラブに出席できないときには、他のクラブの例会やロータリーのその他の会合(地区大会、インターシティミーティング、その他の地区の会議など)に出席するメイクアップ (Make-Up) という方法で、通常の例会欠席を補うことができます。また、所属クラブの奉仕プロジェクト及びその他の行事や活動に少なくとも12時間参加することによっても出席となります。最近ではインターネットクラブ (Eクラブ) の誕生によって、IT環境が整った場所では、いつでもどこにいてもメイクアップができるようになりました。例会に欠席の場合、その例会の前14日、または後14日以内に、他のどこかのロータリークラブの例会、またはクラブ理事会によって承認されたクラブの奉仕プロジェクトに出席することで、その欠席を補填することができます。詳しくはクラブ定款第9条(出席)を参照してください。

★例会はいつ、どこで開催されているのでしょうか?

近隣のクラブが、いつ、どこで例会を開催しているかはご存知だと思います。例会の時間や場所の変更も事前に届きます。でも、出張先などで、例会を探すのはどうしたらいいのでしょうか?『ロータリーの友』誌の3月号と9月号に挟み込んである「例会一覧表」や地区ホームページなどをご利用ください。ロータリアンなら、いつ、どこのクラブの例会に出席しても歓迎されます。各クラブではビジター(メイクアップのために訪問する人のこと)を見込んで、席や食事の準備をしていますので、事前に電話などで連絡してから訪問することをお勧めします。初めて訪問するクラブの場合でも、相手が待っていてくださるので、心細い思いをすることもありません。

★例会場に着了いたら何をしますか?

他クラブの例会に行ったら、まず受付に行きます。ビジターは受付に行き「ビジターフィー」(訪問費)を支払い、名刺をつくってもらいます。例会時の食事代が主なものです。

受付を済ませると、クラブの担当者が席に案内してくれます。また、ニコニコBOXに寄付を入れるかどうかは自由です。もちろん金額も自由です。でも、どのくらいの金額を入れればいいのか、迷ったり、悩んだりした場合には、受付の担当者や、案内をくださる会員に、そつと聞いてみてください。同じロータリアン同士ですから、親切に教えてください。訪問先のクラブ幹事からは「訪問ロータリアン報告用紙」(一般に「メイクアップカード」と言われます)に、メイクアップの旨が記入され、用紙はその場で手渡されたり、ホームクラブに送付されたりします。

◎年次総会において下記の通り選任されました。

2015-16年度
福島ロータリークラブ役員・理事・監事

・会長	幡 研一	・監事(2名)	河田 亨
・会長エレクト(2016-17年度会長)			内池 浩
	古俣 猛	・理事(10名)	
・副会長(2017-18年度会長)		後藤 忠久	日比野恒夫
	森岡 幸江	土屋 敦雄	佐藤 武彦
・幹事	箱岩 偉	菅野 晋	菅野 晴隆
・会計	紺野 晴郎	右近 八郎	坪井 大雄
・SAA	加藤 義朋	金子與志人	森川 英治
・直前会長	丹治 正博		



次期会長あいさつ 幡 研一 会長エレクト

只今は、次年度の理事・役員・監事の選出を頂き、ありがとうございました。これから次年度の計画を立てていきます。ご協力お願い申し上げます。

◎また、例会終了後第1回次年度理事会が開催され、下記の通り選任されました。

・副幹事	菅沼 裕	相良 元章
・副SAA	増子 勉	高橋 聡

県北第一分区、県北第二分区合同青少年奉仕

「新世代会議」

森岡幸江 新世代委員長

さる11月22日、二本松青年海外協力隊訓練所において、青少年奉仕「新世代会議」が開催されました。テーマは「学ぼう！世界のことを」震災を乗り越え、国際人としてできることです。IAC2名、阿久津PG、浦部会員、森岡が出席しました。開会セレモニーの後、食堂にて昼食を頂きました。ベトナム料理のフォーやチャイの献立で、お食事をしながらベトナムの生活様式や風土のお話がありました。ベトナム料理といえば、生春巻きがよく知られていますが、食べられている地方は限られるそうです。

次に講堂にて「国際協力とグローバル人材」について、二本松青年海外協力隊訓練所所長の北野一人様からの講演です。開発途上国の暮らしを知り、不便な生活を想定することで、本当の豊かさとは何か、失ってはいけないことを学び、日本の生活では気づかなかった価値観を得る。青少年の皆様に期待することは①広い視野をもつ②外から日本をみる③多様な価値観を受け入れることであり、福島の再生は国際社会の願いである。という内容でした。

次に「貧困の輪」について考えるワークショップと続きます。そして、「栄養事情」「水」「感染症」「紛争、平和」「初等教育」の5つのテーマに分かれて、学習意見交換をしました。実際に海外でボランティアをしてきた隊員の方のお話は、分かりやすく興味深いもので、青少年の方には視野を広げるよい機会になったと思います。

ニコニコBOX報告

〈報告〉緒方 啓道 委員

本日のニコニコBOX投入額 26件 ¥55,000 累計 ¥1,328,000

◎加藤 義朋 会員
本日、会長をはじめ次年度理事、役員に選出された会員の前途をご祈念申し上げます。

◎他に／丹治正博／坪井大雄／緒方啓道／田沼紀美子／金子與志人／今井康／菅沼裕／氏川守義／安藤健次郎／八巻恵一／古俣 猛／児玉健夫／海野卓哉／門脇 渉／佐藤英典／有田吉弘／高橋聡／中島健至

◎菅野 晴隆 会員
今月は家族月間となっております。スピーチを担当させていただきますので宜しくお願い致します。

◎安藤 鍊雄 会員
誕生日のお祝いありがとうございます。

◎幡 研一 会員
菅野晴隆親睦R家族小委員長のスピーチによせて。

◎内池 浩 会員
師走の選挙は迷惑千万！！

私のひとこと

右近 八郎 会員



健康、希望、革新
標記の言葉は、先日のご挨拶をいただき、その内容を簡潔にまとめたものです。企業人あるいはリーダーとして大事な三つのポイントだそう。三つというのが大事で、一つは少ないし四つは覚えにくいものです。その元社長は「四の五の言わない」と言っていました。
健康はそのままです。希望というのは、どんな状況でも挫けない精神力が必要ということ。三つ目の革新というのは、英語ではイノベーションであり、変化の激しい環境を生き抜いていくための姿勢だそう。言うは易く行うは難し、といったところでしょうか。

例会プログラムのご案内

- 12月18日(木) 18:30～「辰巳屋」
「年忘れ家族会」 *「友」紹介
- 12月25日(木) 12:30～「辰巳屋」
丹治正博会長スピーチ「半期を振り返り」

*** 2015年 ***

- 1月5日(月) 12:30～「エルティ」
「市内クラブ合同新年例会」 ホスト／福島西RC

幹事報告

お知らせ

- 福島中央ロータリーアクトクラブ設立認証状伝達式報告
- 本日18:30より石林にて12月理事会を開催致します。

おめでとうございませう
12月 誕生祝い
有田 吉弘 会員
菅野 裕一 会員
安藤 鍊雄 会員
相良 元章 会員
中島 健至 会員



昭和 39年12月 11日
昭和 37年12月 13日
大正 14年12月 16日
昭和 41年12月 20日
昭和 40年12月 26日

◎森川 英治 会員

今月ご誕生の皆様おめでとうございます。福島銀行では今年も十二月十二日から十四日まで本店地下会議室で障がい者施設製品の大展示即売会を開催します。手作りの素敵な製品がたくさんありますので是非足をお運び下さい。

◎茂田 士郎 会員

私の新車の色は黄色というか黄金色という感じです。今までの車の色は目立たないオフホワイトかシルバークレーにしていたのですが、今回はこれが最後の車と思うせいか思い切って派手な色にしてみました。この気持ちお解り頂きますでしょうか？

◎清水 義之 会員

昨日は第一回忘年会で二日酔いです。これから忘年会シーズンのピークを迎えますが、飲み過ぎに注意しましょう。

◎内池 浩 会員

師走の選挙は迷惑千万！！

◎幡 研一 会員

菅野晴隆親睦R家族小委員長のスピーチによせて。

◎菅野 晴隆 会員

今月は家族月間となっております。スピーチを担当させていただきますので宜しくお願い致します。

◎安藤 鍊雄 会員

誕生日のお祝いありがとうございます。

◎加藤 義朋 会員

本日、会長をはじめ次年度理事、役員に選出された会員の前途をご祈念申し上げます。

◎他に／丹治正博／坪井大雄／緒方啓道／田沼紀美子／金子與志人／今井康／菅沼裕／氏川守義／安藤健次郎／八巻恵一／古俣 猛／児玉健夫／海野卓哉／門脇 渉／佐藤英典／有田吉弘／高橋聡／中島健至

パンダハウス募金ご報告 (森川英治社会奉仕委員長)

12月4日 7,031円

累計143,314円